品　番

PCD-A型

家庭用

電気ケトル

取扱説明書

保証書つき

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

もくじ

はじめに

使いかた

困ったときは

その他

この製品は湯わかし専用です。
保温機能はついていません。

日本国内 100V 専用

交流 100V 以外の電源では使用できません。

ご意見をお寄せください。
http://www.tiger.jp/

安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

◆ここに表した注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
◆本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分して説明しています。

⚠警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷[*1]を負うことが想定される内容を示します。
⚠注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害[*2]を負うことが想定されるか、または物的損害[*3]の発生が想定される内容を示します。

*1 重傷とは、失明や、けが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さないけがややけど、感電などをさします。
*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

△記号は、警告、注意を示します。具体的な注意内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。

⃠記号は、禁止の行為であることを示します。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を示します。具体的な指示内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。

乳幼児のいらっしゃるご家庭でご使用の場合は特にご注意ください。

⚠警告

電源プレート接続部をなめさせない。

乳幼児が誤ってなめないように注意する。
感電やけがの原因。

子供だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わない。

やけど・感電・けがをするおそれ。

ふたを「カチッ」と音がするまで確実に閉める。

沸とうが止まらなくなったり、倒れたときにお湯が流れ出て、やけどのおそれ。

蒸気孔や注ぎ口に触ったり、顔などを近づけない。

やけどをするおそれ。特に乳幼児には、さわらせないように注意する。

⚠注意

不安定な場所、熱に弱いテーブルや敷物などの上では使わない。

倒れたときに、お湯が流れ出て、やけどのおそれ。
また、火災や、テーブル・敷物の変色・変形の原因。

⚠警告

改造はしない。
修理技術者以外の人は、分解したり、修理をしない。

火災・感電・けがの原因。

交流100V以外では使わない。(日本国内100V専用)

火災・感電の原因。

定格15A以上のコンセントを単独で使う。

他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火するおそれ。

電源コードは、破損したまま使わない。
また、電源コードを傷つけない。

(加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを載せる・挟み込むなど)
火災・感電の原因。
電源コードが破損した場合は、「連絡先→P.17」に記載のタイガーお客様ご相談窓口までご連絡ください。

差込プラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る。

火災の原因。

差込プラグは根元まで確実に差し込む。

感電・ショート・発煙・発火のおそれ。

電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。

感電・ショート・発火の原因。

安全上のご注意

⚠警告

ぬれた手で、差込プラグの抜き差しをしない。
感電やけがをするおそれ。

満水目盛を超えて、水を入れない。
お湯がふきこぼれ、やけどのおそれ。

ふたを勢いよく閉めない。沸とう後、しばらくは開閉しない。
蒸気でやけどのおそれ。

ガス火にかけたり、電気ヒーター・電磁調理器・電子レンジなどに使わない。
火災・熱変色・変形・故障の原因。

本体接続部や電源プレート接続部に、ピン・針金など金属物(異物)を入れない。また、ごみを付着させない。
感電・ショート・発火の原因。

蒸気孔をフキンなどでふさがない。
お湯がふきこぼれて、やけどのおそれ。また、ふたの変形の原因。

水以外のものをわかさない。
お茶・牛乳・酒・ティーバッグやお茶の葉、インスタント食品などを入れて使うと、泡立ってふきこぼれ、やけどのおそれ。また、こげつき・腐食・故障の原因。

氷を入れて保冷用に使わない。
冷たい水や氷を入れると結露が生じ、感電・故障のおそれ。

本体を抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったり、上下に勢いよく振ったり、衝撃を加えない。
「ロック」にしていても、傾けたり倒したりしない。お湯が流れ出て、やけどのおそれ。

本体を転倒させない。
「ロック」にしていても、傾けたり倒したりしない。お湯が流れ出て、やけどのおそれ。

電源プレートを落としたり、衝撃を加えない。
過熱や異常動作、感電の原因。

水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電・発火のおそれ。

水のかかりやすい場所や、底部がぬれるような所に置いて使わない。
ショート・感電・故障の原因。

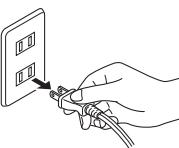
ふたパッキンが白く変色したら交換する。
倒れたときにお湯が流れ出て、やけどのおそれ。

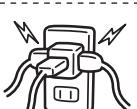
異常・故障時には、直ちに使用を中止する。
そのまま使用すると、火災・感電・けがのおそれ。
〈異常・故障例〉
- 電源コードやプラグが異常に熱くなる。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- いつもと違って異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする。
- 本体から水もれする。
- その他の異常や故障がある。

すぐにプラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼する。

⚠注意

使用時以外は、差込プラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

必ず差込プラグを持って引き抜く。
感電やショートして発火するおそれ。

この製品専用の電源プレート以外は使わない。電源プレートを他の機器に転用しない。
故障・発火のおそれ。

タコ足配線はしない。
火災のおそれ。

蛇口から直接水を入れたり、底面をぬらさない。
本体内部に水が入り、ショート・感電・故障の原因。

壁や家具の近くでは使わない。
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因。キッチン用収納棚などを使うときは、中に蒸気がこもらないように注意する。

ふたをはずすときに出る蒸気や露にふれない。
やけどの原因。

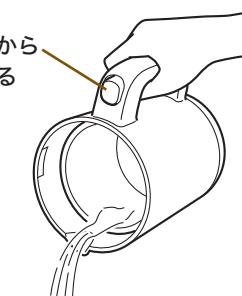
湯わかし中は、お湯を注がない。
お湯が飛び散り、やけどの原因。

湯わかし中は、移動させない。
お湯が流れ出たり、蒸気でやけどの原因。

使用中や使用後しばらくは高温部にふれない。
やけどの原因。沸とう完了直後は、本体が熱くなるので注意する。

本体を持ち運ぶときは、ふたの開閉レバーにふれない。
ふたがはずれて、けがややけどをするおそれ。

お手入れは冷えてから行う。
高温部にふれ、やけどのおそれ。

残り湯をすてるときは、必ず下図の方向からすてる。→P.12
別の位置からすてると、本体内部にお湯が入って故障の原因。また、やけどのおそれ。

本体をさかさにして置かない。
故障の原因。

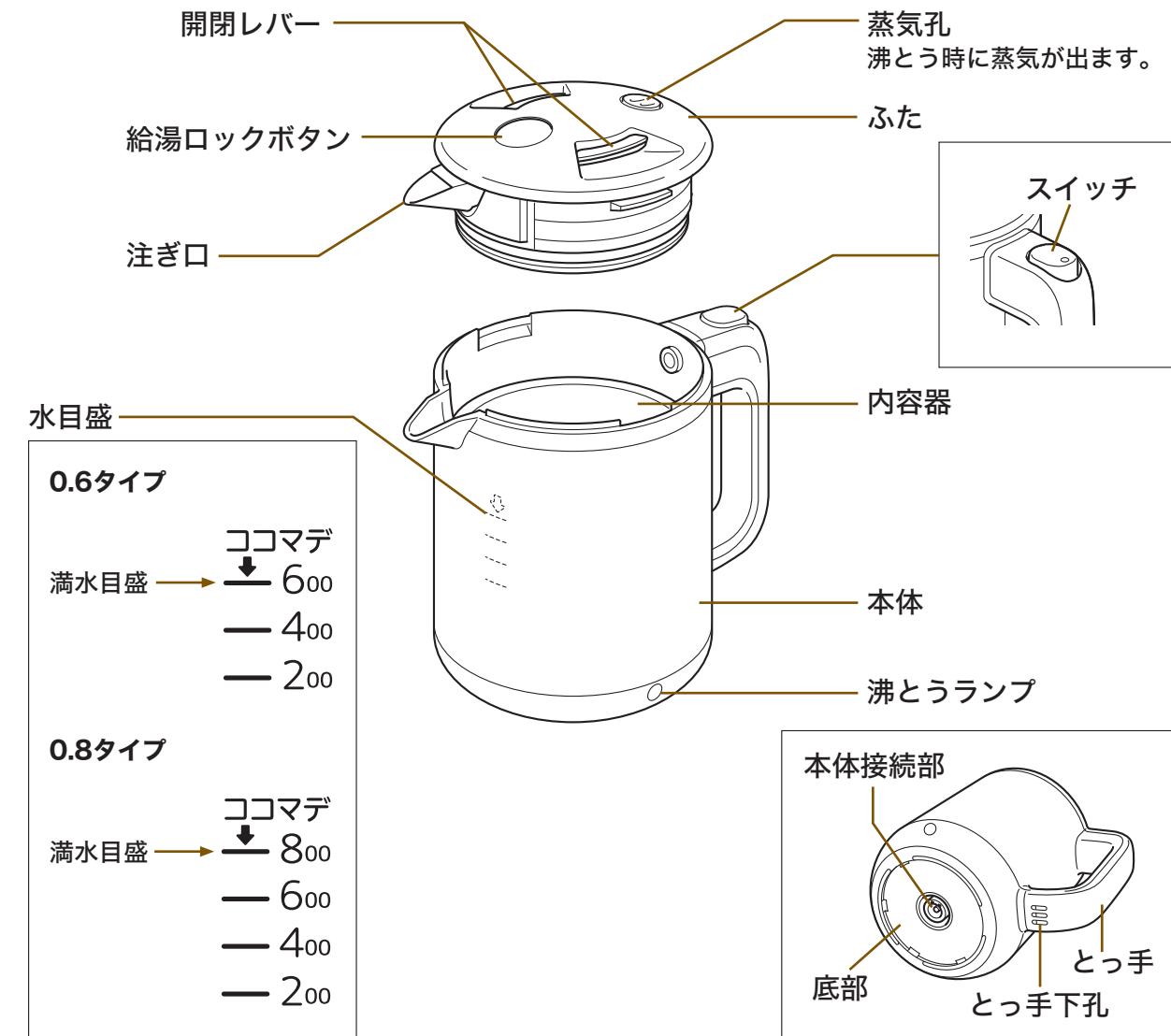
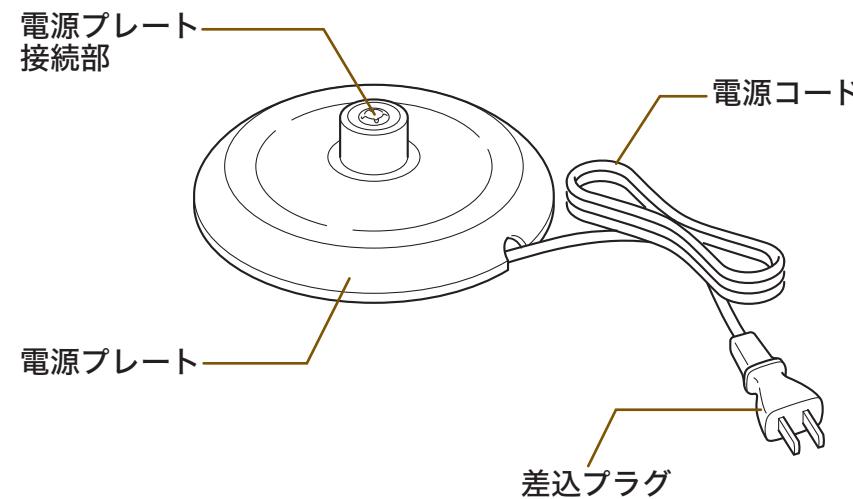
丸洗いしない。
ショート・感電・故障の原因。

末永くご使用いただくためのご注意

- **火気の近くでは使わない。**
  変形・故障の原因。
- **直射日光が長時間あたる場所では使わない。**
  本体が熱くなるなど、故障の原因。
- **カラだきをしない。**
  水を入れないで通電すると、内容器の熱変色、故障の原因。
- **備長炭などの炭を入れて使わない。**
  故障の原因。

各部のなまえ

箱をあけたら、まず確認しましょう！

この製品は、本体と電源プレートのセパレート式になっています。

はじめて使うとき・しばらく使わなかったとき

本体内を洗浄するために、次の手順で、お湯をわかしてすてる。

1. **満水目盛まで水を入れ、お湯をわかす。**→P.8 〜 11
2. **お湯がわいたら、注ぎ口から約半量のお湯をすてる。**→P.10・11
3. **ふたをはずして、残り湯をすてる。**→P.12

お湯をわかして注ぐ

必要なときに、必要な量のお湯が
すぐに用意できるのね。

電源プレートに本体をのせる前に、ふたをはずして、本体に水を別の容器で入れ、ふたをつける。

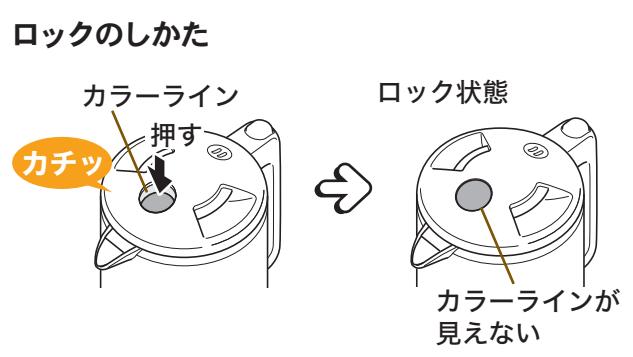
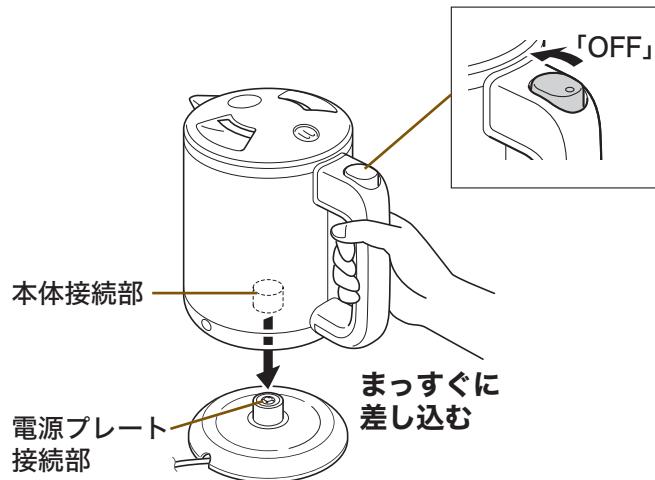
ふたのはずしかた・つけかた→P.12
「満水目盛」以下に入れる。→P.7

電源コードを電源プレートの切込みから外に出して平らな面に置き、本体を電源プレートに確実にのせる。

スイッチが「OFF」になっていることを確認する。

給湯ロックボタンが「ロック状態」になっていることを確認する。

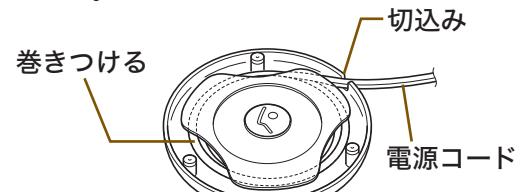
給湯ロックボタンが押し下がった状態で湯わかしをすると、沸とう時間が長くなったり、注ぎ口から蒸気が出てやけどのおそれ。

ロックのしかた

注ぐときやふたを着脱するときの音

「カラカラ」という音は、万一、転倒した場合、お湯の流出を防止する弁(せんバルブ)の音です。

電源コードの長さ調節について

電源コードを電源プレートの底面に巻きつけて長さを調節し、切込みから外に出してください。

切込みから電源コードを外に出す

ご注意

◆水を蛇口から直接入れたり、ぬれた場所に置いて底面をぬらさない。
◆満水目盛を超えて水を入れて湯わかしをしない。
◆電源プレートに本体をのせたまま水を入れない。故障の原因。

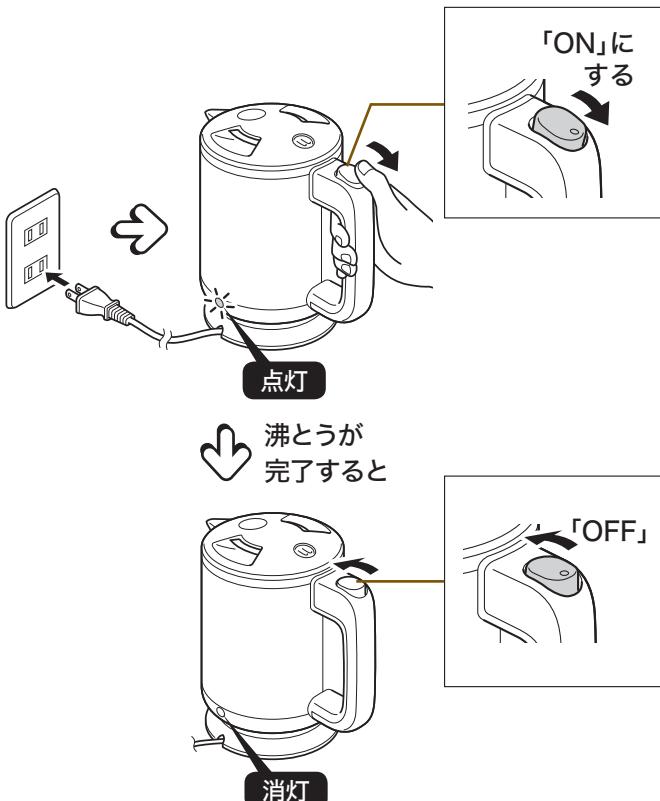
お湯をわかして注ぐ

差込プラグをコンセントに差し込み、スイッチを「ON」にする。

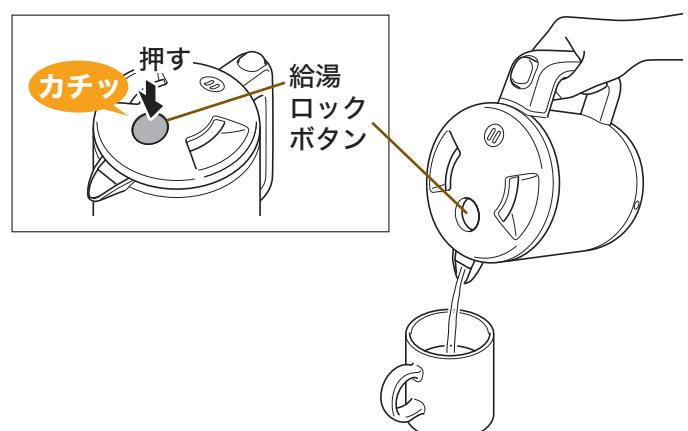
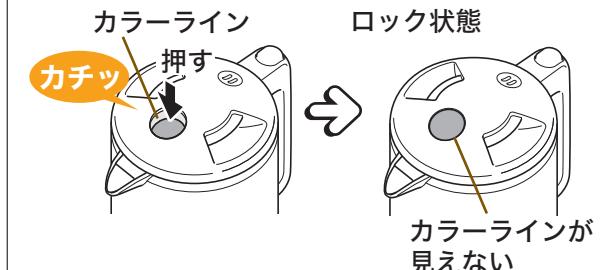
【沸とうが完了すると】
◆自動的にスイッチが「OFF」になって消灯します。
◆しばらくは、蒸気が出るので注意する。

【湯わかし中に電源を切りたいとき】
スイッチを「OFF」にする。

保温はされません。沸とうが完了後放置すると、お湯は冷めます。

沸とうが
完了すると

スイッチが「OFF」になっていることを確認してから、差込プラグをコンセントから抜く。

6 電源プレートから本体をはずし、給湯ロックボタンを押して、お湯を注ぐ。

注ぎ終わったら、必ず給湯ロックボタンを押してロック状態にする。

カラだき防止機能のはたらき

水が入っていない状態でわかしはじめると、スイッチが「OFF」になり、湯わかしが止まります。→P.15

沸とう時間の目安

タイプ	時間
0.6タイプ	約3分
0.8タイプ	約4分

※水温・室温：23℃、満水、電圧：交流100Vのときの参考値。

ご注意

湯わかし中に本体を電源プレートからはずすと、湯わかしが止まります。

とっ手下孔からたれる水滴について

蒸気を感知して電源が切れる仕組みになっているため、蒸気がとっ手下孔から水滴となってたれることがありますが、故障ではありません。

ご注意

連続してお湯をわかしたときや、室温が低い場所でわかすと、蒸気や熱いしずくがとっ手下孔から出る場合がありますので、とっ手下孔にはふれないでください。
やけどをするおそれ。

使わないときはお湯をすてる

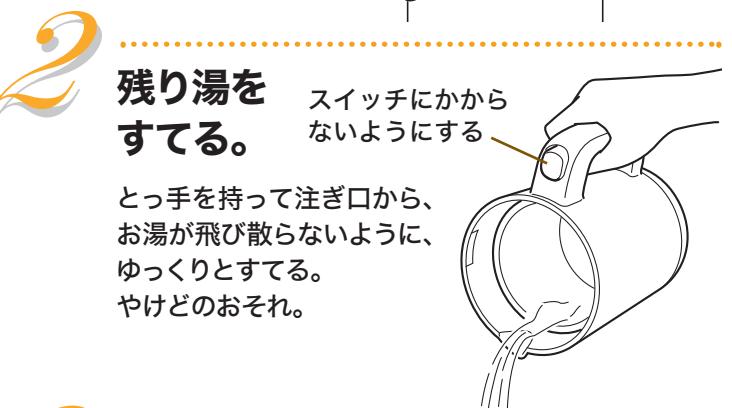
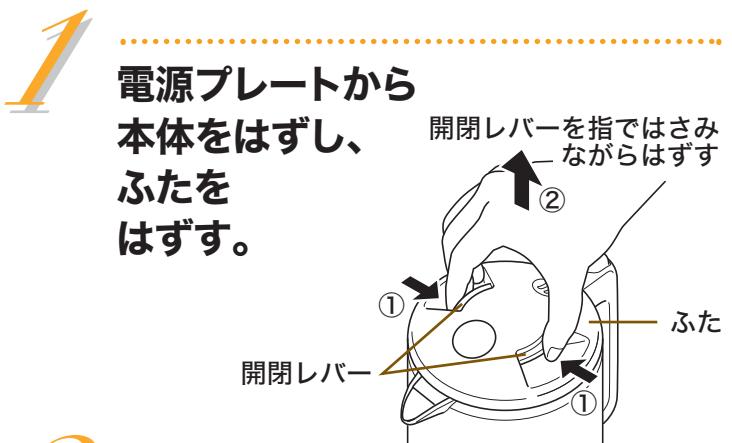
いつもおいしいお湯がわかせるように、使わないときは、ふたをはずして、残り湯をすてるといいのね。

電源プレートから本体をはずし、ふたをはずす。

残り湯をすてる。

スイッチにかからないようにする

とっ手を持って注ぎ口から、お湯が飛び散らないように、ゆっくりとすてる。
やけどのおそれ。

3 ふたをつける。

内容器にお湯を残さない

内容器が変色したり、においの原因になるので、残り湯はすてる。

使用後はお手入れする

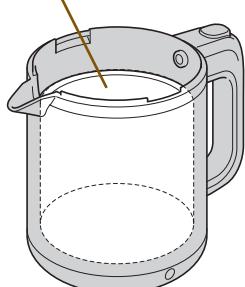
内容器は、こまめにお手入れする。→P.13

お手入れする

こまめにお手入れして、清潔・長持ち！

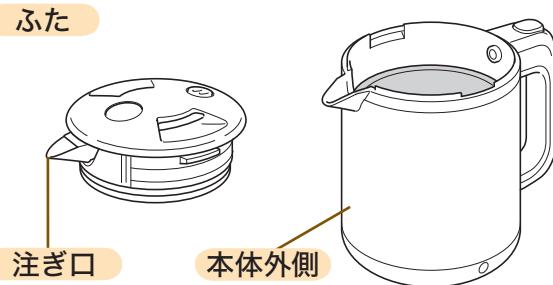
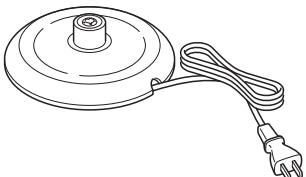
◆差込プラグを抜き、冷えてからお手入れする。
◆水につけたり、水をかけたりしない。丸洗いしない。
◆スポンジ・布はやわらかいものを使う。

こまめにお手入れする箇所・部品

内容器

内容器に水またはぬるま湯を半分くらい入れ、スポンジでふき取った後、すすぐ。（外側はぬらさない。）

ご注意

◆洗剤・シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
◆食器洗浄機や食器乾燥器などは使わない。
◆カラだきによる内容器の変色は取れません。

汚れるたびにお手入れする箇所

よくしぼったフキンでふき取る。

乾いた布でふく。

ミネラル成分について

水の中に含まれているミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）が、内容器に付着して下記のようになることがありますが、有害ではありません。汚れが目立ってきたら、クエン酸洗浄する。→P.14

- 内容器に、サビのような赤いはん点ができた。
- 内容器が乳白色・黒色・虹色などに変色した。
- お湯に白い浮遊物が浮く。

ご注意

◆内容器は、こまめにお手入れし、汚れが目立ってきたら、クエン酸洗浄する。→P.14
ミネラル成分がたまると、お湯が出にくくなったり、湯わかし中の音が大きくなる原因。
◆ミネラルウォーターや、アルカリイオン水（ミネラル成分を多く含む水）を湯わかししたときは、よりこまめにお手入れする。
付着したミネラル成分がはがれて本体内のお湯や蒸気の出口をふさぎ、故障の原因。

お手入れする

長期間使わないとき

1. P.13の要領で各部のお手入れをし、乾いた布でふく。
2. 各部を自然乾燥させる。（特に内容器は充分に乾燥させる。）
3. 虫やほこりなどが入らないように、ポリ袋などで密封して保管する。

内容器のにおいや汚れが目立ってきたら

内容器のクエン酸洗浄をする

（1～3カ月に1回の目安）

1. クエン酸　約30g（大さじ2～3杯）を、内容器に入れる。
2. 満水目盛まで水を入れてまぜ、ふたをつける。（お湯は入れない。）→P.7・8・9
3. 差込プラグを接続して、お湯をわかし、約2時間放置する。→P.10・11
4. 差込プラグとふたをはずして、お湯をすてる。→P.12
5. 汚れが残っているときは、スポンジでこすり落とす。（落ちにくいときは、再度クエン酸と水を入れて同じ操作をする。）
6. 内容器と注ぎ口をすすぐために、水だけで通常どおりにわかし、ふたをつけた状態でお湯をすてる。→P.8～11

クエン酸のお買い求めについて

お買い上げの販売店、または、「連絡先→P.17」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、消耗品・別売品のご購入専用ホームページでお買い求めください。

品名	電気ポット内容器洗浄用クエン酸（約30g×4包入り）
品番	PKS-0120

※クエン酸は、食品添加物として使用されており、食品衛生上無害です。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、ご確認ください。

	こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた	参照ページ
お湯をわかすとき	お湯がわかない。（沸とうランプがつかない。）	電源コードがはずれていませんか。	差込プラグを接続する。	10・11
		本体が電源プレートに正しくのっていますか。	正しくのせてください。	8・9
		スイッチが「OFF」になっていませんか。	スイッチを「ON」にしてください。	10・11
		電源プレート上面や電源プレート接続部に、金属片やごみが付着していませんか。	差込プラグを抜いてから、金属片やごみを取り除いてください。	4
		水が入っていない状態でスイッチを「ON」にしていませんか。カラだき防止機能が働くとスイッチが「OFF」になります。	いったん本体を電源プレートからはずし、内容器が充分に冷めてから水を入れて、ふたをつけ、お湯をわかしてください。	11
	注ぎ口や蒸気孔からお湯が勝手に出る。	水を「満水目盛」を超えて入れていませんか。	「満水目盛」以下にする。	7・8・9
	「ゴー」という音がする。	「ゴー」という音は、湯わかし中に発生する泡がはじける音です。		
	「ゴー」という音がいつもより大きい。	内容器が汚れていると、特に音が大きくなります。	クエン酸洗浄をする。	14
	沸とうが止まらない。	給湯ロックボタンが「押し下がった状態」になっていませんか。	給湯ロックボタンを「ロック状態」にする。	8・9
においがするとき	お湯がにおう。	水道水に含まれる消毒用塩素の量により、カルキ臭が残ることがあります。		
		使いはじめのうちは、樹脂などのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。		
本体の不具合	内容器が汚れている。（お湯に白い浮遊物が浮く。）	水に含まれるミネラル成分の作用によるもので、内容器自体の変色や腐食ではありません。	クエン酸洗浄をする。	14
	プラスチック部分に線状や波状の箇所がある。	樹脂成形時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。		
	使用後しばらくすると音がすることがある。	熱せられた部品の冷めるときに発生する音ですので、使用上の品質に問題はありません。		
	とっ手下孔から水滴がたれる。	蒸気を感知して電源が切れる仕組みになっています。蒸気がとっ手下孔から水滴となってたれることがありますが、故障ではありません。		

消耗品・別売品のお買い求めについて

お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、消耗品・別売品のご購入専用ホームページでお買い求めください。

◆ふたパッキン(消耗品)

1年を目安に確認し、下記のようになってきたら交換する。
(倒れたときにお湯が流れ出て、やけどのおそれ。)
・白く変色した。
・汚れや破損がひどくなった。
・ふたのすき間から蒸気がもれ出した。

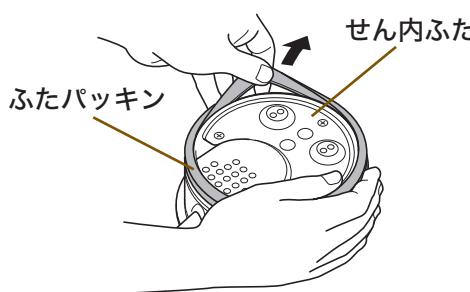
部品番号	PFV1007

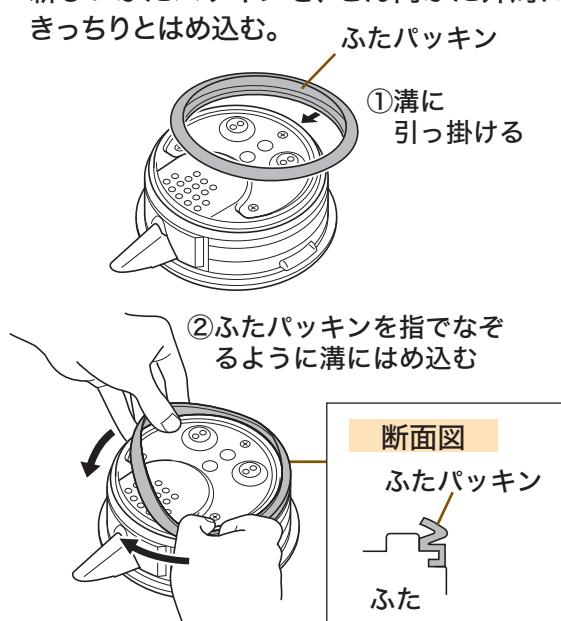
◆樹脂部品(傷んできたとき)

熱や蒸気にふれる樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。
食品衛生上安全な材料を使用していますが、変色したりザラザラしてきた場合は、交換する。
(有償修理)

ふたパッキンの交換のしかた

はずしかた

ふたパッキンをはずす。

つけかた

新しいふたパッキンを、せん内ふた外周にきっちりとはめ込む。

確実にはまっていることを確認する

ご注意

◆せん内ふたなどの部品を、ふたからはずさない。蒸気もれやお湯のふきこぼれ、やけどをするおそれ。

◆ふたパッキンを交換しても蒸気がもれたり、お湯がふきこぼれるときは、その他のパッキン類、成形品などが傷んでいる場合があります。上記にてお買い求めください。

仕様

サイズ	定格容量(L)	電源	定格消費電力(W)	温度過昇防止装置(温度ヒューズ)(℃)	コードの長さ*1(m)
0.6タイプ	0.6	交流100V 50-60Hz	1300	172	1.3
0.8タイプ	0.8				

サイズ	本体のみ 外形寸法*1 (cm) 幅	奥行	高さ	質量*1(kg)	本体＋電源プレート(本体を電源プレートにのせた状態) 外形寸法*1 (cm) 幅	奥行	高さ	質量*1(kg)
0.6タイプ	14.2	23.0	18.0	0.92	14.8	23.0	19.5	1.10
0.8タイプ			19.9	0.97			21.4	1.15

＊1　おおよその数値です。
※特定地域(高地・寒冷地など)では、所定の性能が確保できないことがあります。

保証とサービスについて

修理を依頼される前にまず「故障かな？と思ったら→P. 15」をご覧になり、お調べください。
それでも不具合の場合は、下記に基づき、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 保証書の内容のご確認と保管のお願い
保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡ししたしますので、「販売店印およびお買い上げ日」をご確認の上、内容をよくお読みになり、大切に保管してください。

2 保証期間はお買い上げの日から1年間です。(消耗品は除きます。)
保証書の記載内容に基づき、お買い上げの販売店が修理いたします。くわしくは保証書をご覧ください。

3 修理を依頼されるとき
保証期間内 ･･･ おそれいりますが、製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。
保証期間を過ぎているとき ･･･ まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。ご相談の際、次のことをお知らせください。
①製品名　②品番　③製品の状況(できるだけくわしく)

4 電気ケトルの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5 修理料金とは
修理料金とは、おもに技術料と部品代で構成されています。
技術料 ･･･ 不具合内容の原因を診断する作業、故障箇所を修復する作業(修理および部品交換・調整・修理後の点検など)の料金です。
部品代 ･･･ 製品の修復に使った部品の代金です。

6 その他製品に関するお問合せ、ご質問がございましたら、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口(下記)までご連絡ください。

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために、一部予告なく変更することがあります。

連絡先 タイガー魔法瓶株式会社

本社 〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・お買い物のご相談は **お客様ご相談窓口**

ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570-011101
市内通話料金でご利用いただけます。

※携帯電話・PHSとIP電話等(ナビダイヤルを利用できない電話)の方はこちらへ
TEL(06)6906-2121

受付時間　AM9:00～PM5:00　月曜日～金曜日（祝日・弊社休業日を除きます。）

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。
ホームページアドレス http://www.tiger.jp/
消耗品・別売品のご購入ホームページ　http://www.tiger.jp/shop.html